

令和5年度 第4回扶桑町地域公共交通会議 議事要旨

日時：令和6年2月5日（月）午後1:30～

場所：扶桑町役場2階大会議室

出席者：〈委員〉18名中16名

中部大学教授《会長》	磯部 友彦
犬山タクシー株式会社	長屋 涼
愛知県タクシー協会	松浦 秀則（代理 尾関 眞智夫）
犬山タクシー株式会社 運転手代表	永川 博之
扶桑町身体障害者福社会代表	源口 千秋
扶桑町山那地区代表	大滝 雅男
扶桑町北新田地区代表	長瀬 直子
国土交通省 中部運輸局愛知運輸支局	宮川 高彰
愛知県都市・交通局	石屋 義道（代理 吉野 敬太）
愛知県一宮建設事務所 維持管理課長	渡邊 浩行
愛知県犬山警察署 交通課長	早川 健太（代理 安井 裕二）
扶桑町副町長《副会長》	北折 廣幸
名古屋鉄道株式会社	花村 元気（代理 夫馬 康昌） （随行者 後藤 泰之）
社会福祉法人 扶桑町社会福祉協議会	安井 友貴
一般社団法人尾北医師会理事	三輪 哲人
株式会社アイシン	杉山 仁

〈事務局〉4名

生活安全部長	長谷川 明夫
生活安全部 地域協働課長	兼松 孝行
生活安全部 地域協働課 統括主査	林 幸弘
生活安全部 地域協働課 主事	横井 航太

会議資料：資料1-1：チョイソコふそう実証運行 第1期運行計画

(2022年10月～2023年9月)

資料1-2：チョイソコふそう実証運行計画報告について（概要版）

R5.10～R5.12

資料2-1：扶桑町地域公共交通計画（案）に関する意見に対する回答

資料2-2：扶桑町地域公共交通案について

資料2-3：計画案修正点について

資料3：地域公共交通運行・地域公共交通計画策定スケジュール

資料4：令和6年度扶桑町地域公共交通会議予算（案）について

## 1 開会

【事務局】 開会の挨拶を行う。

【磯部会長】 挨拶を行う。

【事務局】 扶桑町地域公共交通会議の委員数 18 名に対し、本日は 16 名が出席されている。過半数を超えているので、本日の会議が成立していることを宣言する。代理出席と説明者の出席を報告。傍聴者について説明を行う。また、配付資料の確認を行う。

【磯部会長】 議事録署名者に犬山タクシー永川委員、社会福祉協議会 安井委員を指名。

## 2 議題

### (1) 報告事項

#### ① チョイソコふそう実証運行経過報告について

【事務局】 事務局林統括主査より資料 1-1、1-2 に沿って説明

【磯部会長】 利用者は伸びているが、事務局が強調していたように予約不成立件数が増加しているのが心配である。  
利用したいときに利用できるようにこなせていない。  
乗合率を高めたいが、行先と行動する時間帯が一致すればうまくいくが、ばらばらであるので難しい。  
その点が悩ましいが、なにか工夫をしたい。

【宮川委員】 資料 1-1 の地区別の会員登録者数について、地区の人口総数に比例しての人数になっていると思うが、その認識でよいか。  
予約不成立について、直前予約の対応は難しいと思うが、希望する時間から予約までのタイミングを利用者がこうすれば予約成立率が高くなるなどがあれば知りたい。

【事務局】 登録者数は地区の人口総数に比例しているので、今後地区の人数に併せてパーセンテージ等も記載していく。  
予約不成立については、大半が当日予約で、利用者出来る限り時間にゆとりを持っての行動してもらうことと、早めの予約をしてもら

うようアナウンスはしているが、それが伝わっていない現状である。

【磯部会長】 やり方は色々あると思うが、利用者に一緒に利用するグループを作ってもらっても改善策のひとつになってくると思う。早めに予約することで空き状況や予約状況がみえてくるので、それで行動を調整することも可能かもしれない。当日予約もできれば良いが事前準備をすることで確実性が上がってくる。使い方の工夫を皆さんに考えていただきたい。

【杉山委員】 午前中の利用はいっぱいになっているが、午後は若干余裕があるので、午後に使ってもらえるような特典というか午後に使うとメリットがあるように誘導していきたいので、スポンサー等と相談をしていきながら、色々検討して施策を考えたい。

【事務局】 通院等の変えられない予定などもあるので、今の利用状況では10時から12時台の利用が多いので予約が不成立になりやすい等の情報を周知して、変えられる予定については利用者に午後に促せるような仕組みを作っていきたい。

## ② 今後の考え方について

【事務局】 事務局兼松課長よりチョイソコふそうの本格運行移行に向けて各方面と調整を進めてきて、令和6年10月に本格運行へ移行する目途がついた。今後も江南市の公共交通にどのような影響があるかの検証は引き続き実施していく。関係していただいた各所の方々には感謝申し上げます。

【磯部会長】 本格運行に向けての準備ができたということ。

【宮川委員】 江南市への乗り入れ説明が行われると思うが、緑ナンバーでの運送事業を行うにあたって、各市町村へ色々な影響がでる可能性があり、国の手続きも必要になってくるので江南市の公共交通会議等にも確認をいただきたい。その点も含めて江南市に時間をいただくとともに、実際に運行してどのような影響があるかについて、江南市と関連する交通事業者と相談しながら進めてもらいたい。

【事務局】 そのように進めていく。

【北折副会長】 行政界を超えた停留所の設置は、要望は多くあったが難しいと考えていた。しかし、関係者のご理解とご協力により達成できそうだと認識できた。この場を借りて、感謝を申し上げる。

## (2) 協議事項

### ① 扶桑町地域公共交通計画案について

【事務局】 事務局林統括主査より資料2-1、2-2、2-3に沿って説明

【大滝委員】 資料2-3の修正点で、可児市、各務原市の順序に理由があるのか。

【事務局】 特に定めはないので、統一する。

【安井委員】 5-2頁の表中の保管は誤字で補完が正しい。資料2-3も同様に誤字である。

【宮川委員】 名鉄犬山線の役割の関する2-8頁と5-3頁の表現を統一した方よい。5-3頁の表現を2-8頁にあわせるとよい。

【磯部会長】 誤字は修正するとして、計画案は承認でよろしいか。

【委員】 異議なし

### ② 地域公共交通運行・地域公共交通計画策定スケジュールについて

【事務局】 事務局林統括主査より資料3に沿って説明

【宮川会員】 先に議決した地域公共交通計画では、まだチョイソコふそうの本格運行を前提としていない記載と理解している。事務局の説明では10月から本格運行に移行するのを前提にしており、本格運行は国の補助の適用対象となり、補助対象となるためにはチョイソコふそうは本格運行することを明示し、国に補助申請をするためには、これは地域にとって非常に大事な公共交通で、公共交通計画への記載が必要である。4月に本格運行移行への最終確認と、それに伴う公共交通計画を改訂し、6月末の補助申請までに計画案を修正すると理解している。また、運賃について、実験的な取組みなので簡易的な取り扱いから、正規の緑ナンバーで本格運行していく手続きに移り

ます。その時、正規の運行について運賃の制定を皆さんに確定していただく必要があるが、法改正で運賃はこの公共交通会議から別の運送事業者他関係者で確定させることになり、それが6月の運賃協議会であると理解している。また、江南市への乗り入れも江南市の公共交通会議で協議していただくところがあるが、江南市側でチョイソコふそうの乗り入れが本当によいのか等の確認をする作業がある。あわせて、江南市や江南市の公共交通事業者と今後の進め方とどのような影響があるか等を協議しながら推進していくと理解している。

**【磯部会長】** 整理すると、今年度、地域公共交通計画を策定するがチョイソコふそうの本格運行は記載せず、来年10月に始める本格運行時に国から補助金を受けるためにその内容の地域公共交通計画を作成する。それまでに江南市の承認も必要である。6月頃に新しい計画に基づいて、国へ補助申請を行うというスキームを考えている。来年の4月5月は色々あると思うが、皆さんにご理解いただきたい。異議がなければ、承認でよろしいか。

**【委員】** 異議なし

### ③ 令和6年度扶桑町地域公共交通会議予算（案）について

**【事務局】** 事務局林統括主査より資料4に沿って説明

**【磯部会長】** この件について、承認でよろしいか。

**【委員】** 異議なし

## 3 その他

**【夫馬委員】** のりものカードについて説明

## 4 閉会

**【事務局】** 閉会の挨拶を行う。

令和 6 年 3 月 2 / 日

本書は、令和6年2月5日に開催された扶桑町地域公共交通会議の議事要旨に相違ないことを証する。

署名人 永川博之

署名人 宇井友貴